

令和6年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和7年3月31日時点)

施設名	港区立郷土歴史館						
指定管理者	アクティオ・東急コミュニティー共同事業体						
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 11 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	－	利用料金制の採用	－	使用許可権限の付与	－
施設所管課	教育委員会事務局教育推進部図書文化財課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託（シルバー人材センター等）	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	12	5	7	41	9	32		53
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	備 考		
正規・非正規職員の退職者数	13							

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	備 考
施設利用者数	141,988					
特別展示室利用者数	13,783					
常設展示室利用者数	13,297					
提案事業参加者数	21,830					

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項 目		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	備 考
経費実績	収入	462,695,545	0	0	0	0	
	指定管理料（清算後）	460,206,339					
	利用料金収入	0					
	その他収入	2,489,206					
	支出	458,596,999	0	0	0	0	
	職員人件費	152,307,848					
	光熱水費	44,753,799					
	修繕費	12,227,017					
	事業運営費	72,557,542					
	施設管理経費	111,507,243					
	その他経費	65,243,550					
	差引収支額	4,098,546	0	0	0	0	
	年度協定書で定める指定管理料	477,765,381					

5 管理運営状況に対する評価

項 目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	5 / 5	×5 25 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	3 / 5	3 / 5	×2 6 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	5 / 5	×1 5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×2 10 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	5 / 5	×3 15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	3 / 5	3 / 5	×1 3 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	5 / 5	×3 15 / 15
区による評価合計点					94 / 100

【各項目の評価について】

- 5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。
 3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。
 1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。
 ※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	展示関連プログラムやギャラリー展、予約不要で参加しやすいワークショップや公募型のコンサート、地域団体と連携した事業等、多種多様な提案事業を実施しました。 またSNSや新聞折込等を活用した幅広い世代に向けた告知展開や、メディア露出等により認知度向上につとめ、誘客につなげることができました。 提案事業参加人数は21,830名、施設来館者数は141,988名となり、目標値としていた令和元年度水準、前年度の数値、ともに上回る実績となりました。 職員配置においては年度内に退職者が出たため、欠員補充を行いました。定員に達しておらず欠員が続いています。グループ編成を変更や業務分担により業務は遂行しておりますが、早急に欠員補充を行ってまいります。 なお、令和6年度情報セキュリティ監査において指摘を受けた課題に対応すべく、UTMの導入等による情報セキュリティ対策を実施しました。また、備蓄品の整備やマンホールトイレ、受水槽等の災害用設備の周知を図る等、災害対策も強化しました。次年度も引き続き、情報セキュリティ含め安全管理を徹底した施設運営を行ってまいります。
区（施設所管課）による評価	歴史館の特性を活かしつつ、地域団体や大使館との連携など多様な主体と様々な事業を実施するとともに、SNSなど幅広い世代に向けた告知をといった来館促進を図った結果、開館当初の令和元年度を上回る14万1988人と多くの方に来館していただきました。 一方で、郷土歴史館運営の根幹である職員配置については、事業運営に支障は来さないよう工夫を施したものの、年度内の欠員補充ができておりません。募集方法を見直すなど更なる工夫が必要です。また、情報セキュリティ監査における指摘事項については、対応を迅速に行い改善を図りました。職員確保を除き、全体的に良好な運営が行われていました。

6 評価

令和6年度の管理運営に関する総合評価	S
--------------------	---

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

- S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）
 A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）
 B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）
 C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）